

【第1回 美術の森緑地整備基本構想策定委員会 議事要録】

日時:平成 24 年 7 月 25 日

時間:16 時～17 時

場所:練馬区立美術館 1 階視聴覚室

[策定委員]

粟津則雄委員長 中村哲明副委員長 高橋幸次委員 山辺茂委員 小泉博文委員
本橋昇一委員 中澤弘生委員 本木清江委員 石王嗣基委員 稲富和仁委員
平林明委員

[事務局]

練馬区 小金井文化・生涯学習課長 若林美術館長 山崎公園建設係長 中野美術
館副館長 内田美術館次席
(株)東京ランドスケープ研究所 2 名

委嘱式 犬塚区民生活事業本部長（区長代理）より各委員へ委嘱状の交付

区民生活事業本部長

皆様にはご多忙のところ、委員をお引き受けいただきありがとうございます。区立美術館は民間出身の館長指導のもと、さまざまな斬新な企画を打ち出し入館者の増加に結び付けておりますが、このたびは隣接する美術の森緑地の整備を行い、より一層練馬区中村橋の文化的な素晴らしいゾーンにしていきたいと思っております。この計画は区民生活事業本部だけではなく、まちづくり事業としての地区計画も関係していますので、まちづくりのメンバーも含めて検討を進めていきます。委員の皆様のご意見をいただきたいと思っております。

事務局

それでは、要綱の規定により、粟津委員を委員長に、中村委員を副委員長に指名させていただきますが、よろしいでしょうか。

各委員 < 異議なし >

事務局

ありがとうございます。それでは、委員長、副委員長からご挨拶をお願いします。

委員長

私は練馬区に暮らして 50 年近くになります。美術館の出来る前から地域と関わってきました。無力とは思いますが頑張っていきたいので、よろしくお願いします。

副委員長

美術館は昭和60年に設立され、もう少しで30年になります。長い年月を積み重ねて、だいたひ区民の皆様に認知されてきました。財政が非常に厳しい中ではありますが、策定委員会では皆様の叡智を結集し、皆様に愛される公園にリニューアルしたいと思ひます。

委員長

それでは、案件(1)についての説明をお願いします。

事務局 案件(1) (会議の公開、議事録の公表) について説明 (資料1 参照)

各委員 < 異議なし >

委員長

それでは、各委員に自己紹介をお願いします。

各委員 < 自己紹介 >

委員長

案件(2)、(3) について、事務局から説明してください。

事務局 案件(2) 美術の森緑地の整備についての説明 (資料2)

案件(3) 基本構想策定委員会での検討内容についての説明 (資料3)

委員長

委員の皆さんの意見を反映して構想案を決めていきたいので、活発な発言をお願いします。どのような公園として整備していくか、各委員の意見を聞かせてください。

委員

緑地は、樹木の剪定で少し明るくなりましたが、区のア美術館の雰囲気としてはまだ暗いイメージがあります。また、現在、水景の水が止められてしまっているのひ、その周辺の改善もしてください。美術館冬の時代と言われており、なかなか人が集まらな

い現状があります。区立美術館のスタンスとしては皆が集える場所となつてほしいと思います。良い作品を展示していても、見に来ていただかないと意味がないので、前庭(美術の森緑地)を楽しい空間、行ってみようと思えるような空間にするべきです。

委員

確かに木立ちは暗いのですが、木を伐るのではなく、照明を増やして明るくしてはどうでしょうか。バリアフリーの問題にも注意しなければなりません。自転車止めは必要ですが、車椅子が園内に入れるように調整してほしいと思います。また、ある観光地では、からくり時計が駅前広場にあり賑わっている場所もあります。観光スポットとして、からくり時計があればよいのではないですか。

委員

現在、水景の水が止まっている状態です。水は危険という考えもありますが、どちらの方がよいかも考えていければと思います。

委員

今回、初めて現地を見ました。障害者の立場から車椅子が動きやすいように広い通路を確保してほしいと思います。また、足が悪い人が休憩できるように、洒落たベンチがほしいです。

委員

コンセプトに則って整備をするにあたっては、お金はどのくらい掛かるのか把握してから構想を考えていけばよいのではないですか。また、憩いの場として既存の高木を伐ってしまっているのか、イベントの際には人が集まる空間にするのかなど、美術館と一体化した空間として検討できればよいと思います。

委員

昨年、作品を出展した際に初めて練馬区美術館に来ましたが、インパクトが少ないと感じました。美術館に入る外階段では、高齢者が転びそうになっている場面を見かけました。彫刻のある公園と言っていますが、実際は緑が少なく殺風景な空間になっていて、癒しがなく残念に感じています。

委員

樹木が多く暗いと感じましたが、一方では心を休める場所として木立ちの良さ、落ち着きもあると思います。また、この公園と、地区計画や周辺の住宅地、商業施設との連続性が感じられないので、その点も考慮して検討してはどうでしょうか。

委員

街の活性化に繋がる、賑わいに繋がる整備をして、中村橋の目玉になるような場所にしてほしいと思います。

委員

美術館の周囲では平成 19 年に電線の地中化を行っており、区として環境面で力を入れている場所です。練馬区では緑地に時計を設置しない方針があり、美術の森は緑地という位置づけがあったことから時計の設置は行いませんでした。平成 19 年から「みどり 30 推進計画」という練馬区の緑を 30% 増やそうという試みがあるので、樹木についてはそれも考慮して調整します。

委員長

いろいろな意見を出す前に、予算については把握する必要があります。それを踏まえた上での提案をしていきたいと思います。現在の広場は公園というより空き地というイメージです。美術館利用者より外から来た人が使っているイメージがあります。集客も必要ですが、人が集まり過ぎると騒々しくなるという問題もあります。

事務局

今回の委員会で出た意見を踏まえて素案をつくり、次回までに提示したいと思います。

委員長 案件(4) 基本構想策定委員会開催スケジュールについての説明(資料4参照)

事務局

先程の各委員へのアンケートの結果を踏まえて、第2回の委員会は9月12日(水)午前10時半から開催します。絵を含めたタタキ台を第2回の策定委員会で提示します。資料の作成については土木部と設計受託者と一緒に行っていきます。

委員

次回の委員会当日に資料を見るのではなく、前もって資料を見てそれに対する意見を持ったうえで委員会に望みたいと思います。

事務局

分かりました。資料については、できるだけ事前に提示できるように努力します。

以上